

7. 結 言

大 森 慎 吾*

地震予知には精密に計測された地殻変動観測データが不可欠である。数ミリの精密な計測を可能とした技術が本プロジェクトの基盤となっている VLBI であり、SLR である。いずれも最新の宇宙技術を用いた測地技術であるが、当然の事ながら一朝一夕に生まれた技術ではない。本プロジェクトの基盤技術である VLBI は、20 数年前極めて少ない研究費など劣悪な状況下で当所の研究者が苦心惨憺した育てた基礎研究の芽である。これが、昭和 39 年に開催された東京オリンピックの宇宙中継を機に当所で開始された衛星通信の研究や、現在でも日本標準時を供給し時間の基準となる周波数標準の研究などの基礎研究の蓄積と有機的に結合して本プロジェクトとして今日花ひらく事ととなった。いわば、陽のあたらない

長い醸造期間（研究期間）と醸成を助ける酵母（基礎研究）があって初めて実を結んだ酒である。逆に言うならば、長い研究期間と基礎研究の基盤なしには大きな成果は得られない事を示している。しかし、この“超”長期間熟成された「酒」である「首都圏広域地殻変動観測システム」は約 100 億円の研究開発をつぎ込んで整備される研究施設である。その莫大な研究開発投資に対しては勿論、地震予知の為の有益なデータを提供するという社会責任の大きさに対して我々は重い十字架を背負ったとも言える。本プロジェクトに関わる研究者として一層の自覚と責任を肝に命じ、研究開発に専念したいと思う次第である。本プロジェクトに皆様方の厳しいご指導ご鞭撻をお願いする一方、当所がより多くの美酒を世に送り出すことができますよう「醸成環境」の整備と「良質の酵母」の育成にご協力をお願いする次第である。

* 関東支所 鹿島宇宙通信センター

